

所属 国際関係学科	職名 講師	氏名 前村 奈央佳	大学院における研究指導担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		2009年～至現在	参加型学習（ゲーミング・シミュレーションなど）を授業に導入		
2 作成した教科書、教材、参考書		2011年3月	異文化間トレーニング教材としての「移民シミュレーション」の開発の経緯、ルールや実践例をまとめて紀要論文に公開。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		2011年9月	日本心理学会第75回大会ワーク・ショップ（企画者：兵藤好美／司会者：田中共子）にて報告（タイトル「移民シミュレーションを用いた異文化間教育 ～移行する側?受け入れ側? 立場の違う異文化間接触を考える～」）		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・共 著の別	発行または発表の年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書／共著					
「異なる文化との接触」	共著	2013年12月	ナカニシヤ出版	加藤潤三・岡本卓也・石盛真徳（編著） 『コミュニティの社会心理学』	pp.255-275
学術論文					
「移民シミュレーション (IS)の開発と異文化間教育 効果の測定」	共著	2011年3月	『関西学院大学社会学部紀要』 第112号	共著：加藤潤三・藤原武弘	pp.91-104
「移動と定住に関する心 理的特性の検討：異文化 志向と定住志向の測定お よび関連性について」	単著	2011年10月	『関西学院大学先端社会研究所紀 要』第6号		pp.109-124

“Japanese Brazilian’s attitude toward Japan and Japanese co-workers: A study of Company D in Hiroshima.”	単著	2012年9月	『移民研究』第8号・琉球大学国際 沖縄研究所移民研究部門		pp.43-56.
「沖縄の県外移住者の適応におけるソーシャルキャピタルの影響」	共著	2014年3月	『人間科学』31号 (琉球大学法文学部)	共著：加藤潤三	pp.111-143
「移動を希求する心理：『ライフスタイル移民』についての社会心理学的考察」	共著	2015年3月	『関西学院大学社会学部紀要』 第120号	共著：加藤潤三・藤原武弘	pp.133-146
「多方向的評価法による地域資源の開発：ウチとソトからみた沖縄の魅力」	共著	2015年3月	『関西学院大学社会学部紀要』 第120号	共著：加藤潤三・林幸史・岡本卓也・藤原武弘	pp.103-113
「沖縄県系人の“母県に集う”心理に関する研究：『第5回世界のウチナーンチュ大会』への参加動機分析から」	単著	印刷中	『異文化コミュニケーション』 第19号		
学会報告					
“Relationship between integrative motivation and community identity.”	共著	2011年7月	The 12th European Congress of Psychology (ECP), Istanbul, Turkey (Poster presentation)	共同発表者：Junzo Kato & Takehiro Fujihara	
「多様な他者への心理的距離と異文化志向の関連」	共著	2011年9月	日本社会心理学会第52回大会 (ポスター発表)	共同発表者：加藤潤三	
「沖縄県系人の『ウチナーンチュ（沖縄人）』観についての探索的研究：『世界のウチナーンチュ大会』参加者調査より」	単著	2012年9月	日本グループ・ダイナミックス学会 第59回大会（ポスター発表）		
「沖縄移住者の移住動機と適応過程についての事例研究」	共著	2013年11月	日本社会心理学会第54回大会 (ポスター発表)	共同発表者：加藤潤三	

「移住者の適応におけるソーシャルキャピタルの影響」	共著	2013年11月	九州心理学会 (ポスター発表)	共同発表者：加藤潤三	
「ルーツを希求する移民の心理：『第5回世界のウチナーンチュ大会』参加動機の分析から」	単著	2014年3月	沖縄心理学会第41回大会 (口頭発表)		
「県外移住者の適応に関連する諸要因の検討」	共著	2014年3月	沖縄心理学会第41回大会 (口頭発表)	共同発表者：加藤潤三	
“Migration motivations and adjustment to a southern Japanese island: A case study of domestic emigrants to Okinawa”	共著	2014年7月	the 28th International Congress of Applied Psychology, Paris, France (Brief oral presentation)	共同発表者：Junzo Kato	
“Effect of social capital on the adjustment of domestic emigrants to Okinawa”	共著	2014年7月	the 28th International Congress of Applied Psychology, Paris, France (Poster presentation)	共同発表者：Junzo Kato	
「県外移住者の適応における社会的ネットワークの影響」	共著	2014年7月	日本社会心理学会第55回大会 (ポスター発表)	共同発表者：加藤潤三	
「沖縄移住者の移住動機と適応について」	共著	2014年9月	日本心理学会第78回大会 (ポスター発表)	共同発表者：加藤潤三	
「沖縄移住者の移住動機と適応のプロセスについての事例研究」	単著	2014年12月	SIETAR 関西 定例会		
「ウチナーンチュとはどういう人か」	共著	2015年3月	沖縄心理学会第42回大会 (口頭発表)	共同発表者：加藤潤三	
“Motivation and adjustment process of lifestyle migrants: Focusing on domestic migration to Okinawa”	共著	2015年8月	The 11 th biennial conference of Asian Association of Social Psychology (Poster presentation)	共同発表者：Junzo Kato	
“What are the conditions necessary to be an Okinawan?”	共著	2015年8月	The 11 th biennial conference of Asian Association of Social Psychology (Poster presentation)	共同発表者：Junzo Kato	

「地元出身者の移住者受け入れ態様の規定因について」	共著	2015年11月	日本社会心理学会第56回大会 (ポスター発表)	共同発表者：加藤潤三	
「地元民はどのように移住者を受け入れるのか」	共著	2015年11月	九州心理学会 (ポスター発表)	共同発表者：加藤潤三	
「沖縄系移民の言語能力とアイデンティティの関連性について」	単著	2016年3月	沖縄心理学会第43回大会 (口頭発表)		
「沖縄県民は海外移民をどれほど受け入れているのか」	共著	2016年3月	沖縄心理学会第43回大会 (口頭発表)	共同発表者：加藤潤三	

III 学会等および社会における主な活動

2016年4月現在	異文化コミュニケーション学会(SIETAR)、日本社会心理学会、日本グループ・ダイナミックス学会、日本心理学会、日本シミュレーション&ゲーミング学会 会員
2014・2015年度	異文化コミュニケーション学会(SIETAR) 紀要査読委員
2014年4月～至現在	異文化コミュニケーション学会関西支部(SIETAR 関西) 広報担当